

PITCHING MACHINE

【SMA39】

取扱説明書

スナガ開発株式会社

《マシンの仕様》

SMA 39

定 格 電 圧	AC100V
周 波 数	50HZ/60HZ
動 力	400Wモーター 1機
スピード調整	ボリューム可変式
ロ ー タ ー	硬式 MAPT64 軟式 MAPT50
球 速	硬式 MAX 120Km/h 軟式 MAX 110Km/h
設 定 球 種	ストレート
寸 法	90×110×150cm
重 量	50Kg

《 注 意 》



電圧 100V

本機は日本国内用です。
電源プラグをAC100Vのコンセントにつないで下さい。
異なる電源電圧で使用すると、事故の原因となります。



禁止

電源コードやプラグを傷つけない。
電源コード損傷は火災や感電の原因となります。
これらの事故を防ぐ為に、次のことをお守り下さい。

- 電源コードやプラグを加工しない。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったりしない。
- 電源コードを抜く時は、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。



水ぬれ禁止

内部に水分を入れない。
感電や火災の原因となります。
雨の日のご使用はお控えください。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電の原因となります。



禁止

水平で安定した場所でご使用ください。
ぐらついた場所で使用するとマシンの転倒の恐れがあります。



禁止

マシンに乗ったり、ものを置いたりしない。
倒れたり、落ちたり、こわれたりしてけがの原因となります。



禁止

はじめからスピードボリュームを上げない。
電源スイッチを入れる前にスピードボリュームを上げておくと
いきなりローターが回りだし危険です。また、スピードコント
ローラー等の寿命を早めます。電源を入れるときは、必ずスピード
ボリュームが「0」であるかを確認して下さい。



禁止

ローターの中に手を入れない。
マシン使用中、ボール発射口やローター、その他の回転部には、
絶対に触れないで下さい。

《ウレタンローターに関して》



○ローターの使用期限は約3年となります。
ピッチングマシン及びウレタンローターをご購入後、3年を経過したローターは、必ず交換をして下さい。



○ローターには、使用期限が記載してあります。
ウレタンローターには、製造年月及び使用期限が記載してありますので、それを目安に必ず交換して下さい。



○ローターの寿命は状況により異なります。
ローターの寿命は、マシンの使用頻度・保管状態により、早く3年より早くなる場合があります。
ピッチングマシンを使用していない時は、直射日光を避け、できるだけ風通しの良い所へ保管して下さい。

《マシンの特徴》

1. 伸びのある球筋が実現できます。

このマシンは、2つのローターの回転によりボールを発射することができます。

2. マシンの操作が簡単です。

このマシンは、スピード調整ボリュームによりローターの回転速度を設定することができ、簡単にお好みのスピードに調整できるピッチングマシンです。ボールの高さ調整もマシン後ろ側の固定ハンドルにより調整できます。

3. 連続投球が可能となりました。

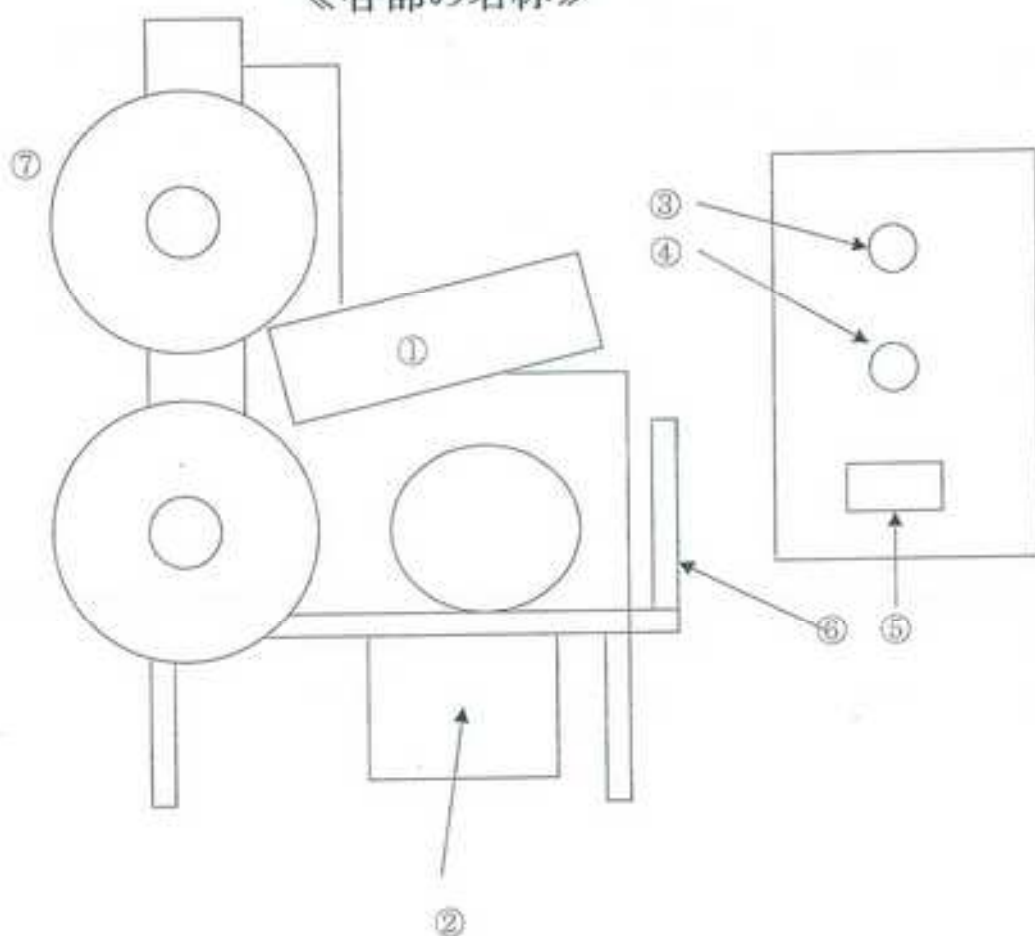
このマシンは、パワフルなトルクブースト制御により、ボール投球直後の立ち上がり早い。(早い投球間隔で使用できます。)

3. 電圧変動に強い。

このマシンは、交流電圧許容変動(90V~132V)に対する影響が少なく、モーターの焼損を防ぎます。(高寿命)

4. 騒音が少なく、ノイズを最小限に抑えることができます。

《各部の名称》



- ① 投入口
- ② コントロールパネル
- ③ スピードボリューム
- ④ 通電ランプ
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ 上下調整ハンドル
- ⑦ ウレタンローター

「ローター」にボールを送る外部フレーム


ボールの速度を調整する為のつまみ
 コンセントに「電源プラグ」を差し込んで
 あれば、(点灯) 差し込んでなければ、
(消灯)

運転する場合：(ON)
 停止する場合：(OFF)
 ボールの上下調整をする
 MAP T 5 0

《使用上の注意》

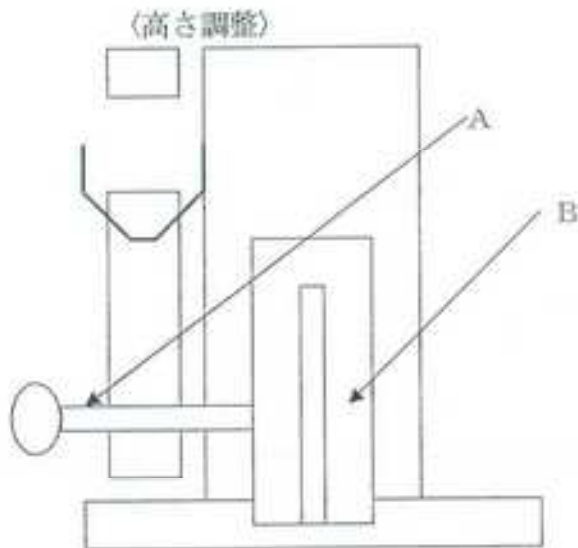
1. 電源が遠い場合、規定以上の長さ（50m以上）に延長すると、電圧降下が生じ、出力が低下することがありますので50m以内でご使用下さい。
2. 漏電事故防止の為、雨天時は使用しないで下さい。また、水をかけたり、濡らしたりしないようご注意下さい。
3. ローター及びVベルト回転中は危険ですから回転部分には触れないで下さい。
4. 人に向けて発射したり、練習以外の目的に使用しないで下さい。
5. ボルトの締め付け、注油・Vベルト・電源プラグやコード・ローターの損傷チェック等定期点検を行って下さい。
6. マシン稼動中に異音・異臭等が発生した場合には、直ちにマシンの電源を切り点検を行って下さい。
7. マシンは丁寧に扱いましょう。高級焼付塗装仕上げですからワックスがけをしておきますと、いつまでもきれいに使えます。
8. 使用後は、ローターやVベルト・その他外観等に異常がないかを確認し、必ず電源プラグを外して付属のマシンカバーをかけておいて下さい。

《運転の仕方》

1. マシンを目的の場所に運びましたら、危険防止の為回転部分に異物等がからんでいないかを確認する。
2. マシンの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。
3. コントロールパネルのスピードボリュームが「0」であることを確認し電源スイッチをON（) にします。
4. スピードボリュームをゆっくりと時計方向に廻します。**（急に廻さないで下さい。）**
5. 試球しながら、スピードと投球位置、コースを決めます。スピードはスピードボリュームで行い、投球位置・コースは上下ハンドルで調節し、お好みの投球設定をしてください。試球、及びスピード・コースを決める時は、ボールの受け手と声をかけあいながら安全に行ってください。

6. コントロール調整

球種、シューター設定、発射位置の設定が出来ましたら、ホームベースに向けて1～2球ボールを発射してみてください。ボールの行方を見て高さを調整します。



本体の取っ手 (A) を支えて、ハンドル (B) を「反時計方向」に緩め、角度を決めます。
角度が決まったら、「時計方向」へ回ししっかりと固定します。

〈コース設定〉

コースの設定は、マシン後部を左右に振ってストライクゾーンに入るように設定します。

7. ボールの投入

- ボール投入の前に人や物がいないか確認します。
- 一球一球発射の合図をして投球を始めます。
- 危険ですのでボールの連続投入はやめて下さい。
(ボールを投球してから約5秒位おきましょう。)
- ボールの新旧のレベルを合わせて使用して下さい。
また、ボールの縫い目の向きを一定にして投入口に送ると、一層コントロールが良くなります。
- ボールについている汚れ(泥等)はきれいに落としてご使用下さい。
コントロール安定する他、ボール・ローター共寿命が長くなります。
- 水に濡れたボールを使用しますと、スリップによりコントロールが悪くなり危険ですので、充分ボールを拭いてからご使用下さい。

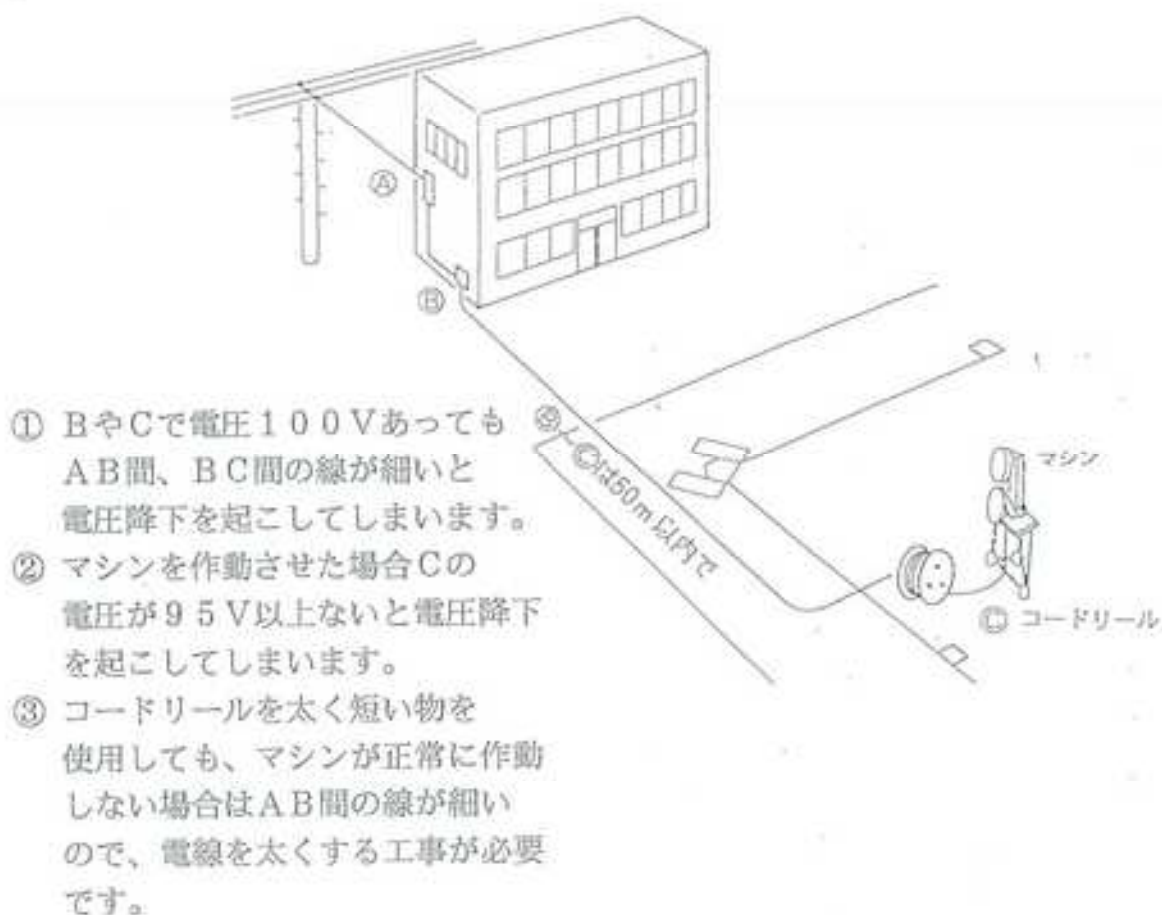
《 電 源 》

このマシンは、AC100V（一般家庭用電源15A以上の容量、また発電機の場合は1.8KVA以上のもの）でご使用できます。

※ コードリール使用の場合

電源コンセントから離れた場所でコードリールを使ってマシンを使用する場合はなるべくコードリールは短く、太いものを使用して下さい。

(50m以内 太さ2mm以上、50m以上 太さ3.5mm以上)



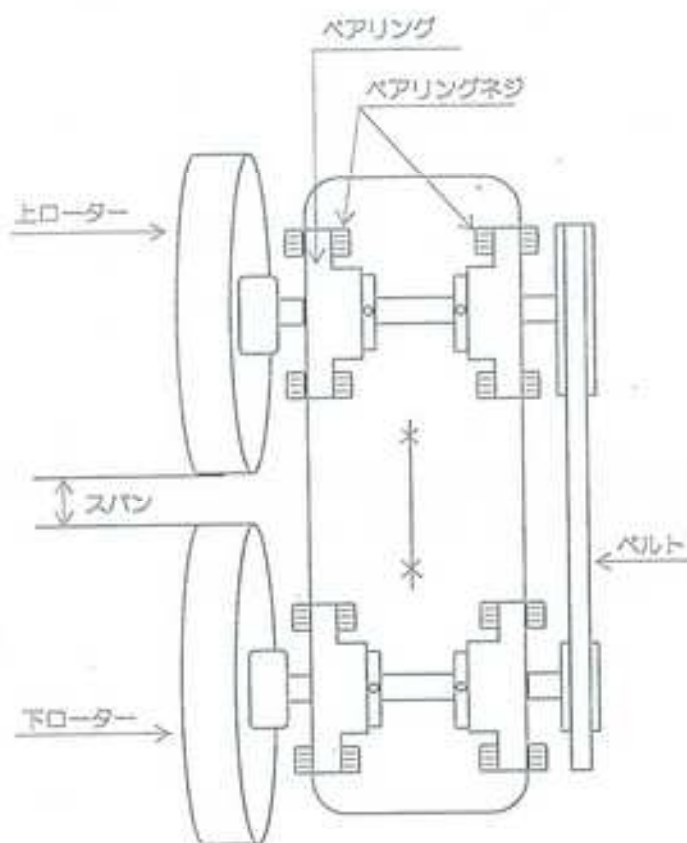
スパン調整方法

スパン（上のローターと下のローターの間隔）

軟式	C号球	……	32mm
	B号球	……	33mm
	A号球	……	35mm
硬式		……	53mm

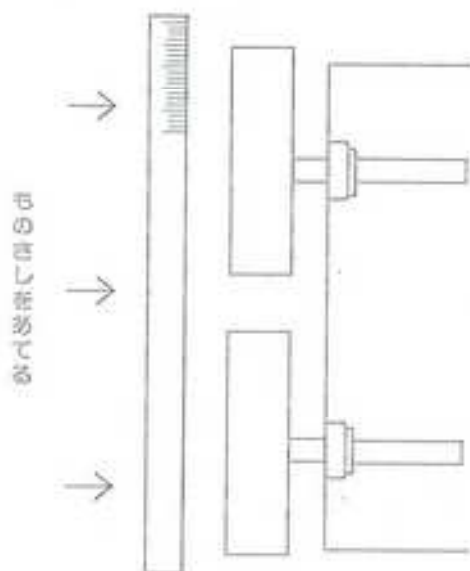
☆調整方法☆

1. ベルトをはずす。
2. 上のローターのベアリングを緩める。
（ベアリングが上下に動く程度、
ネジを緩めすぎないこと）
3. 上のローターと下のローターの垂直を
保ちながらスパンを合わせる。
（スパンは上記の寸法）
4. ベアリングのネジを締める。
5. ベルトを取り付ける。



☆注 意☆

上のローターと下のローターが
絶対に垂直になること。



SMA39 スピードの目安

SMA39 回転数

<硬式>

球速	ボリューム
75	6
95	7
110	8
115	9
120	10

<硬式>

ボリューム	上	下
6	1,495 rpm	2,089 rpm
7	1,732 rpm	2,419 rpm
8	2,039 rpm	2,836 rpm
9	2,313 rpm	3,224 rpm
10	2,337 rpm	3,241 rpm

<軟式>

球速	ボリューム
65	6
85	7
100	8
105	9
110	10

<軟式>

ボリューム	上	下
6	1,517 rpm	2,104 rpm
7	1,819 rpm	2,519 rpm
8	2,150 rpm	2,982 rpm
9	2,370 rpm	3,295 rpm
10	2,385 rpm	3,324 rpm

※上記数値は、あくまでも目安です。

※ご使用時の天候・ボールの種類等により誤差が発生します。

《トラブルメンテナンス》

1. ローターが回らない。
 - ①電源プラグが差し込んであるか？
 - ②通電ランプが点灯しているか？
点灯してない場合は、電源コードの交換が必要です。
 - ③Vベルトが切れていないか？
 - ④Vベルトが外れてないか？
 - ⑤各配線が正常に取り付いているか？（図-6）
 - ⑥メインモーターが作動しているか？
 - ⑦スピードコントローラーに配線が正常に取り付いているか？
 - ⑧スピードコントローラーが作動しているか？（表示が出ているか。）

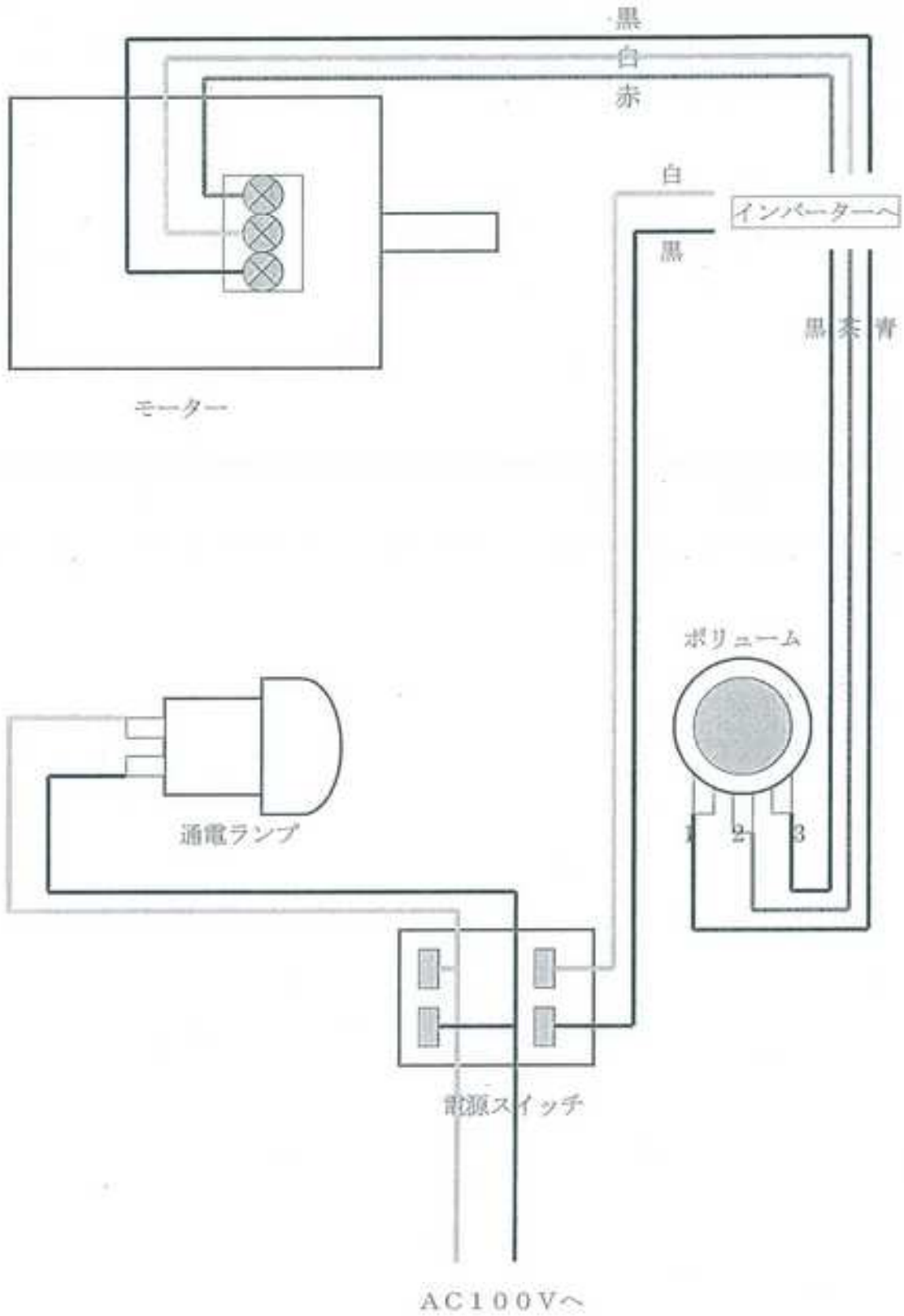
2. コントロールが悪い。
 - ①使用しているボールが濡れていないか？
 - ②新旧のボールが混じっていないか？
 - ③ローターの表面が汚れていないか？
 - ④ローターの表面が磨り減っていないか？
 - ⑤ローターが変形していないか？

《 修理依頼 》

※ 本機を長くお使い頂くに当たり、2・3年に1度の点検・オーバーホールをお薦め致しております。

※ 修理を依頼される場合は、購入店もしくは当社までご連絡ください。

【配線図】



インバーター

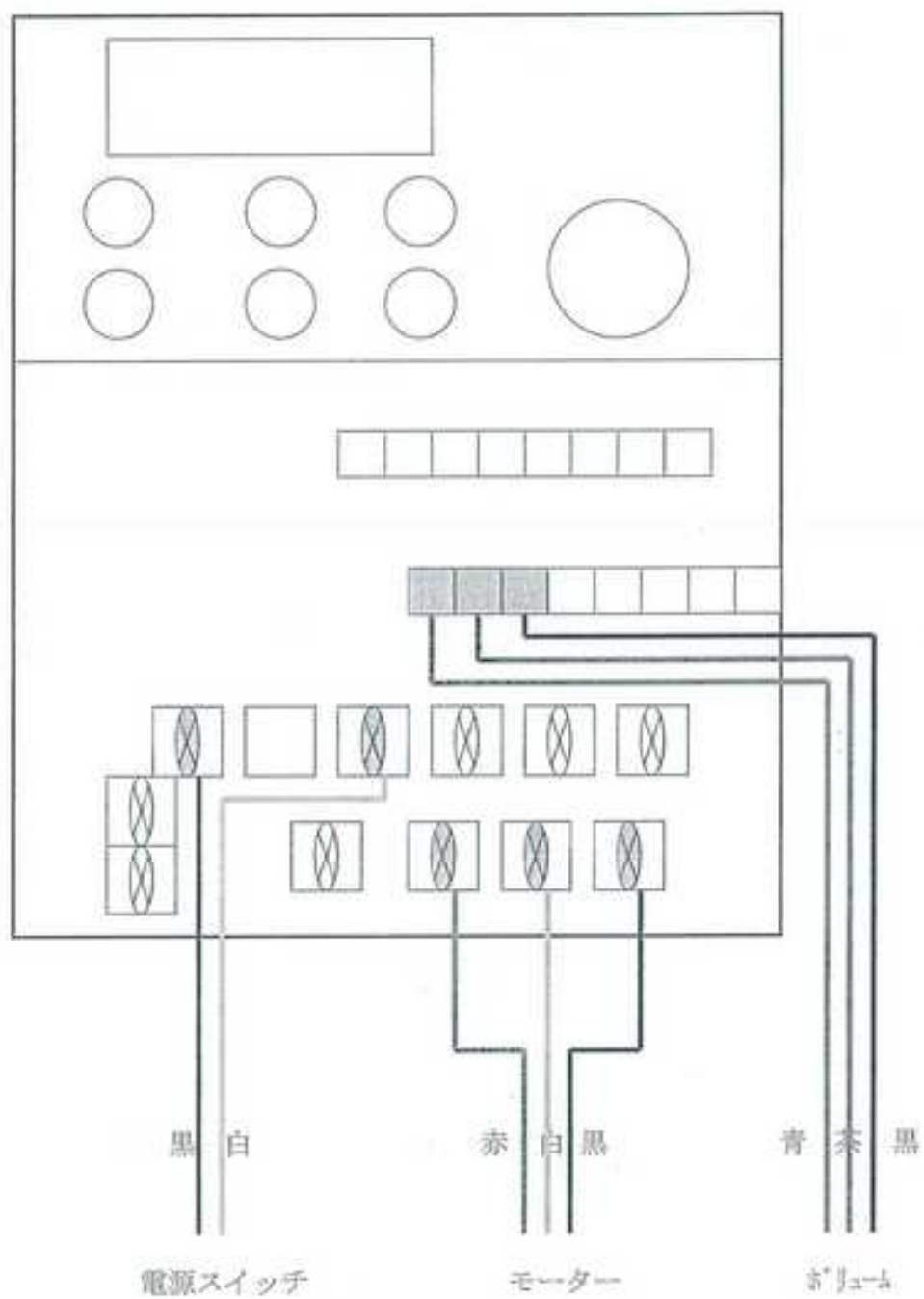


図-6

《 保 障 》

1. このマシンの保障期間は、メーカー出荷日から1年間です。
2. 期間内正常なご使用にも拘らず、万が一故障が起きた場合、無償で修理致します。
3. 保障期間中であっても、次のような場合は有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、及び不当な修理や改造によるもの。
 - ② 電源、電圧が低くてモーターに負荷がかかりすぎにより、モーター及び制御装置が損傷した場合。
 - ③ 移転などの輸送上の故障
 - ④ 火災・公害・地震・風水害・その他天災地変・異常電圧などによる故障。
 - ⑤ 車両・船舶などに搭載された場合に生じる故障
 - ⑥ 保証書のご提示がない場合

《お知らせ》

1. 本書の記載事項や本機に表示してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。
従って本機を取り扱う場合は、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. 管理責任者を決めて管理して下さい。
管理責任者が本機の点検状態・使用状況を管理することが寿命を延ばす結果につながります。